

市民救命士の育成、地域防災に奮闘中



〈執筆者〉

北消防団
淡河支団本部

分団長 山田 守男

わが淡河支団は、北区の北端に位置し、山間に囲まれた農村地帯のため、交通の便が非常に悪い立地条件の下で活動しています。

三木市との境界にあるわが地区は、緊急出動時、管轄の消防署から15分もかかるといふ状況であったため、昨年、神戸市と三木市が提携し、北側の三木市に近い一部の地区については、神戸市と三木市が同時に緊急出動することになりました。また、高齢化が進む中、お年寄りの食事などの詰めや入浴中の心肺停止など、日常の介護においても緊急事態が起こることがあります。このよう

な場合でも市民の尊い命を救えるよう、一人でも多くの方に救命についての知識を持っていただくために、講習会や市民救命士の資格認定講習会を随時開催しています。

昨年には、市民救命士講習実施団体（FAST）に認定され、支団のインストラクターにより資格認定が行えるようになったため、昼夜を問わず講習会を開催し、FASTメンバーの一人として頑張っています。最近では、各種団体から少人数での受講希望もありますが、法改正による内容の変更でAEDの講習が必須となったため、シミュレーションを含む充実した救命講習会を実施することができ、大変うれしく思っています。ただ、AEDは市街地には数多く設置されていますが、私たちの地区においてはJ・A、小・中学校などの主要施設のみと設置場所が少ない

ため、いつ、どこで起こるかかわからない緊急時に、心肺蘇生のできる市民救命士が不可欠となっています。そのため、家庭に一人は市民救命士と考へ、目標としております。

消防署から離れているため、火災やそのほかの災害においても消防隊が到着するまで、地元団員により防衛し、消防隊の到着後は相互協力の下で活動しています。

最後になりますが、昨年度、北消防団重機活用のパワーサポート隊が発足しました。活用することがあつては困りますが、いざというときは、地域の安全と安心のために協力し合えるようになりました。しかし、まずは災害を未然に防ぐことから、力を注いでいきたいと思っています。

